



【盛り込むべき内容】

□議会・市民・行政

- ・議会・行政・審議会の役割の明確化
- ・議会と市民、行政と市民の関係づくり
- ・議会と行政の役割の明確化
- ・行政・議会の外形標準を定める規定
→行政サービスの減少分は、市民が“動く”ことで対応

□議会・議会・議会

- ・議会との関係（議会の果たす役割など）
- ・議会と市民の関係の整理
- ・議会をいかに機能させるか
- ・市民の意見を議会に反映する仕組み
- ・議会から市民に意見を聞く努力を
- ・議員のマニフェストを条例化する
- ・市民に、議会への予算提出権を与えたらどうか

《区のあり方》

□区って何？

- ・区の役割・権限について
 - ・地域で考え、地域で行うことが重要
 - ・区でできるだけ解決できるように
- ・区民議会やテーマ別市民会議の立ち上げ
- ・区選出議員と区民会議の制度化
- ・ボランティアによる区民議会
- ・サブシディアリティ（補完性原理）
- ・区単位の市民活動を促進するもの
- ・7つの区の特性を重んじる
- ・行政と選出される議員と区民との関係、つまり区役所行政の確立に向けて

□自治とコミュニティ

- ・小さな単位での自治、コミュニティ自治
- ・自己統治による新たなコミュニティの創造
- ・町内会、自治会との関係を整理する
→市民参加と現存する町内会、自治会との関係づけ（自己責任との関係において、楽しいまちづくりには必要）

【制度・装置】

・条例の基本フレームにそって作成

□評価

- ・総合計画等についての評価と責任について
- ・行政評価、評価基準の公表
- ・行政政策についての評価制度

□情報公開

- ・情報公開、情報の共有化規定
- ・自治会に参加するための情報共有

制度・ルール

□住民投票

- ・住民投票制度は衆愚政治に陥らないか
- ・住民投票結果と施策実施との関係のルールを検討すべき

□条例の実効性を高める

- ・バックアップ体制
- ・実効性がある条例に
- ・実効性、機能性をもたせるためのバックアップの仕組み
- ・費用負担→行政のやり方を変えれば対応可能か
- ・オンブズマンなどの位置づけの明確化
- ・500万円から市民が使い途を決める（→1%）「自治創生資金」
- ・まちづくり参加の推奨制度と裁判員制度→住民税割引等
- ・市民から行政への調査権・提案権
→複数人で市民の受け皿組織がある場合など

□まちの課題を解決するために…

- ・子供たちに未来を託す事柄
- ・乳幼児託児と保育の充実を条例化したい
- ・学校教育の現状を踏まえた学童、児童、生徒に夢と希望を醸成する教育改革、教育委員会のあり方
- ・安全・安心なまちづくりに関する事柄
- ・危機管理（有事における市民保護のあり方）
- ・情報化社会の共生
- ・人と動物の共生に関する事柄
- ・地域住民同士の交流を密接にする事柄

□条例ができてから…

- ・フォローする、育てる、組織・活動を
- ・運営原則に具体的な手続き、ルールなどを盛り込み、実効性を担保する先進的内容の条例をつくりたい
- ・効果が検証できる仕組みづくり

表面から

